■フランス：マクロン大統領、石炭火力全廃を 2021 年に前倒しする方針

現地報道によると、マクロン大統領は 2017 年 11 月 15 日、COP23 での演説において、フランス国内の石炭火力発電所（5 基、300 万 kW）を 2021 年までに全廃する方針を示した。これまでは 2022 年までを目標としていたが、今回、1 年前倒しした形となる。また、欧州大での炭素価格を 30 ユーロ／tCO_2 にまで引き上げるよう努力するとの方針もあわせて示した。マクロン政権は 2017 年 7 月に「2050 年までにカーボンニュートラル」という目標を掲げる等、これまで気候変動対策に積極的な姿勢を示している。